

輸出事業計画

(株) マーベルコーポレーション 品目：製材

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・台湾においては日本の木材は節があるなど強度的に劣る面があるが、価格が高止まりしている。
- ・北米・東南アジアからの輸入に頼っていた木材が、ウッドショックにより、価格が高騰し、ウッドマイルージの面からも距離の近い日本から輸入したがつている。
- ・中国との外交上のリスクから、古くから友好関係ある日本との取引を増やしたがつている。

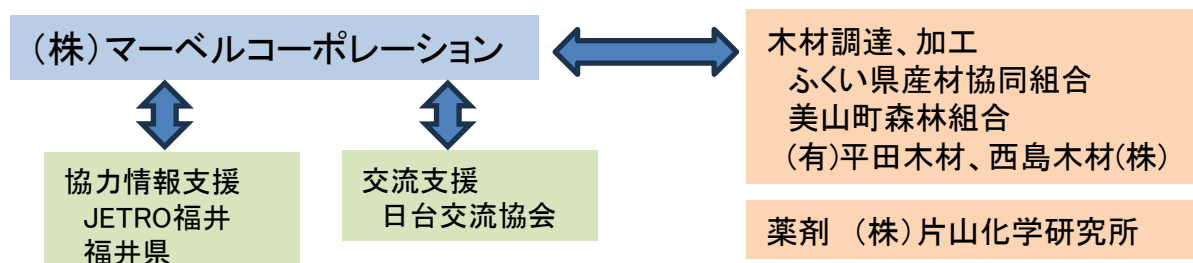
【課題】

①国内で木材に防腐薬剤の注入加工を行ってから輸出する場合、木材の含水率が高くなり、輸送コンテナ内で水分蒸発が起こるため、材の伸縮による割れや反りが起こるなどの問題が発生していること。

2. 輸出事業計画の取組内容

- ①現地に防腐加工等が行える生産加工施設を新設し、施工直前に加工ができる体制を構築する。
更には、台湾国内での木材保存の技術的優位性を実証するために、台湾国のCNS規格の認証取得を視野に入れている。
- ②台湾木材企業との持続的な連携体制を築いていくため、日本からは、大径木を中心とした日本産杉や桧材を、大きくあらびき製材までの加工でとどめて、コンテナに効率よく入る規格にして、台湾へと輸出し、仕上げ加工を台湾木材企業において行えるようにする。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



P：JETRO福井（市場動向、規制等の情報を把握し、計画、企画づくりを支援する）

D：マーベルコーポレーション（計画に基づき、事業を運営管理実行する）

C：福井県（事業運営が適正に順調に推移しているかチェック、確認しフォローする）

A：マーベルコーポレーション（実行内容を検証し、事業全体が確実に遂行できるように行動、運営していく）

4. 輸出目標額

	現状 令和5年度	目標 令和11年度
輸出額（千円）	6,200	100,000
輸出量（m ³ ）	25	400
輸出国	台湾	台湾